

その他経費

2023年2月15日
北陸電力株式会社

【北陸電力】その他経費の概要

- その他経費は、原賠・廃炉等支援機構一般負担金の増加や、志賀原子力発電所2号機の新規制基準対応に係る安全審査費用の増加等により、現行原価対比で176億円増加しております。

【その他経費の内訳】

	今回 A (3か年平均)	現行 B ^(※1) (2008原価)	差引 A - B
廃棄物処理費	78	64	14
消耗品費	26	11	15
補償費	8	8	▲1
賃借料	21	16	4
委託費	193	72	121
損害保険料	4	4	▲1
原賠・廃炉等支援機構一般負担金	57	-	57
普及開発関係費	6	65	▲59
養成費	4	6	▲2
研究費	12	13	▲1
諸費	54	26	28
貸倒損	1	2	▲0
その他 ^(※2)	3	2	1
合計 ^(※3)	465	290	176

(※1)現行(2008原価)には送配電部門の原価は含まない。

(※2)共有設備費等分担額、同(貸方)、建設分担関連費振替額(貸方)、附帯事業営業費用分担関連費振替額(貸方)、原子力損害賠償資金補助法一般負担金、社債発行費

(※3)その他経費は、固定資産除却費を除く。

(注)四捨五入の関係で合計が一致しない場合がある。(以下同様)

【主な増加要因】

	(億円)
・原賠・廃炉等支援機構一般負担金の増加	: +57
・志賀2号機の新規制基準対応に係る安全審査費用の増加 [委託費: +53、賃借料: +1、諸費: +1]	: +55
・分社化影響(内部取引から外部取引への変更等)	: +49
(内訳)	
・北陸電力送配電への業務委託 [委託費: +15]	
・北陸電力送配電所有設備の利用料 [賃借料、諸費: +6]	
・北陸電力送配電からの業務受託 [委託費、諸費、消耗品費等: +28※]	
※当該費用相当は北陸電力送配電から受領しており、対価は電気事業雑収益に計上しているため、原価低減影響がある。	
・火力発電所の高稼働による廃棄物処理費等の増加	: +20
[廃棄物処理費: +16、消耗品費+3]	

【料金原価に反映した効率化施策】

	(億円)
・上流購買の推進による更なる資材調達価格の低減	: ▲19
・緊急経営対策本部の取り組みによるベース諸経費の更なる削減	: ▲4

以上